

## ★ 提案36の賛成意見 ★

三振即アウト法を改正する提案36は、法執行機関リーダー、公民権団体、納税者擁護団体の超党派連合が以下の理由により賛成しています。

- 犯罪に見合う刑罰を与える  
貴重な財源および法執行にかかるリソースを非暴力的な犯罪を犯した者に終身刑を科すために不当に投入してはなりません。提案36は確実に危険な重罪再犯者を処罰し、早期に釈放することはありません。

- 毎年、年間1億ドルの予算を節約する  
納税者は毎年1億ドル以上の節税が可能となり、節税分は学校や犯罪防止に活用するとともに州の赤字返済に充てられます。三振即アウト法は、深刻な重罪を犯した危険な犯罪歴を持つ者を引き続き処罰し、25年以上の懲役または終身刑を科します。

- 危険な重罪犯を収監する場所を確保する  
提案36は、非暴力的な受刑者で満員状態の刑務所の現状を解決し、路上にはびこる危険な犯罪者を収監する場所を確保します。

- 法執行機関のサポート  
検察官、判事、警察官は、凶悪犯罪者を刑務所に死ぬまで閉じ込めておく提案36を支持しています。提案36は、凶悪犯罪者を街から一掃します。

- 納税者のサポート  
提案36は毎年1億ドルを節約します。全米税制改革協議会のプレジデント、Grover Norquist氏は「三振即アウト法の改革は、納税者に優しく犯罪者に厳しいものです。納税者が苦勞して稼いだお金の無駄使いを阻止し、危険な犯罪から市民を守ります」と述べています。California州監査役は、

この法が改正されなければ三振即アウト法により収監されている、危険度の低い受刑者の住居とヘルスケアを確保するためにさらに税金が費やされると述べています。提案36は税金を節約します。

- 刑罰の厳重化  
提案36は、刑事司法の専門家と法執行機関のリーダーにより、改革案により真に危険な犯罪者がいかなる恩恵も受けまいよう注意深く作成されています。深刻なもしくは暴力的な3回目の犯罪を犯した再犯者には、終身刑が科されます。非暴力的な犯罪の再犯者には、通常の2倍以上の刑罰が与えられます。強姦や殺人、子供に対する性的虐待といった極悪な犯罪を犯した者は、たとえ3回目が軽犯罪であっても25年以上の懲役もしくは終身刑が科されます。

共に賛成してください

提案36が成立すれば、California州は三振即アウト法に基づき危険極まりない常習犯を裁き、より公平な判決を下し、重要な本法律をさらに公正に適用することが可能になります。

共に提案36に賛成票を投じてください。  
詳細は[www.FixThreeStrikes.org](http://www.FixThreeStrikes.org)をご覧ください。

**STEVE COOLEY**、地方検事  
Los Angeles郡

**GEORGE GASCON**、地方検事  
San Francisco市郡

**DAVID MILLS**、教授  
Stanford Law School

## ★ 提案36の賛成意見に対する反論 ★

これが、提案36の支持者が有権者には知らせたくない事実です。

- 提案36の隠された条項により、危険な犯罪者が刑期を短縮され、早期に釈放されています。Fresno Bee氏からの抜粋をご覧ください。

「提案36が通過すれば、現在三振即アウト法により終身刑で服役中のおよそ3,000人も重罪犯が減刑されます...」

- 州の仮釈放監察官やその他の法執行機関の監督なしに釈放されてしまう、危険な犯罪者もいます。独立した立法分析者によると、

「本法案により再判決を受けるサードストライカーは、釈放後、州の仮釈放監察官ではなく、郡のコミュニティ監視の対象者となります... 中には、コミュニティ監視なしで釈放される犯罪者も存在する可能性があります」

- 提案36はまったく無用です。検察官および判事は、公正に三振即アウト法を適用する権限を有しています。地方検事協会プレジデントの意見をお聞きください。

「判事と警察官は提案36を必要としていません。凶悪な重罪再犯者に三振即アウト法を適用する権限を削がれ、そう

した犯罪者を街に解き放ってしまいます」

- 提案36には、California州警察署長や保安官、検察官、警察官を代表する団体など、すべての主要な法執行機関および被害者権利擁護団体が反対しています。提案36の支持者側には、法執行機関の名前はひとつもありません。

- 提案36は節税には繋がりません。政府は犯罪に対処するために多額の費用を投じてはけません。犯罪対策に投じる資金が不足しており、納税者の負担は増加しています。

我々は三振即アウト法を保持しようと呼びかけています。提案36に反対してください。

**CHIEF RICK BRAZIEL**、プレジデント  
California州保安官協会

**HENRY T. NICHOLAS, III, PH.D.**  
California's Victims Bill of Rightsの著者

**CHRISTINE WARD**、エグゼクティブディレクター  
犯罪被害者対策同盟

★ 提案36への反対意見 ★

1994年、有権者は重罪再犯者の懲役を加重させる三振即アウト法を圧倒的多数で成立させました。そして、それは今も効力を発揮しています。発効後直ちに当州の犯罪発生率は激減し、近年は一時的な増加に転じているものの、犯罪の抑制に成功しています。その理由は簡単です。同じ犯罪者が何度も犯罪を犯し、裁判所と刑務所を行ったり来たりしているのです。有権者はこう宣言します。もう十分だ、三振即アウト!

2004年、ACLUと厳格な刑法の反対者らは三振即アウト法の変更を試みました。しかし、有権者はこれに反対したのです。そして彼らはまた提案36を提示してきました。前回騙されなかった有権者らが、今回騙されるわけがありません。

前回同様、提案36は危険な犯罪者の懲役期間を短縮させ、釈放しようとしています。提案36の対象となるのは以下のような犯罪者です。

- 地方検事が3回目の犯罪を起訴した、社会にとって危険な犯罪者
- 地方判事の起訴に判事も同意した危険な犯罪者
- 陪審員が有罪判決を下した危険な犯罪者
- 判事が25年以上の懲役もしくは終身刑を科した危険な犯罪者
- 上訴が棄却された犯罪者

結局、提案36はこうした同一の犯罪者に、別の判事に自由の身にしてもらおうとする手段を与えるのです。さらに悪いことには、仮保釈監察や保護観察なしで保釈される犯罪者もいるのです。

立法分析者は、提案36により早期に釈放される収監者についてこう述べています。「コミュニティ監視なしで釈放される犯罪者がいる可能性がある。」

以下のようなCalifornia州の警察や保安官、法執行機関グループが提案36に反対するのも当然です。

- California州警察署長協会
- California州保安官協会
- California州地方検事協会

California州保安官研究協会  
Los Angeles警察保護連盟

刑務所から自由になった常習犯罪者が再度犯罪を犯す可能性について、どう考えますか。答えは明白です。常習犯らはまた罪を犯します。さらなる無実の被害者が殺傷や殺害の被害に合い、犯罪者は現在の居場所つまり刑務所に逆戻りするでしょう。これは、犯罪者らを刑務所に閉じ込めておくより、はるかに納税者に負担を強いるものです。

以下のような犯罪被害者権利擁護団体が提案36に反対するのも当然です。

California州犯罪被害者連合  
犯罪被害者対策同盟

Citizens Against Homicide(殺人行為に反対する市民団体)  
Criminal Justice Legal Foundation(刑事司法法律基金)

三振即アウト法が有権者により承認された当時、厳し過ぎるもしくはコストがかかり過ぎるといった意見もありましたが、2004年に有権者はその見解を拒否しています。有権者は三振即アウト法には改正する余地があることを知っていますが、提案36はその答えではありません。刑法への変更は、すべて今後犯される犯罪にのみ適用されるべきもので、刑期を短縮するなど、すでに服役している犯罪者に適用するものではありません。危険な犯罪者らに再判決や早期釈放の機会を与えることは、犯罪被害者にとって公平ではありません。どうか提案36に反対票を投じてください。

[www.save3strikes.com](http://www.save3strikes.com)

SHERIFF KEITH ROYAL、プレジデント

California州保安官協会

地方検事CARL ADAMS、プレジデント

California州地方検事協会

HARRIET SALERNO、プレジデント

California州犯罪被害者連合

★ 提案36の反対意見に対する反論 ★

提案36の反対者らの不安感を煽る策略に騙されてはいけません。

これが事実です。

- 提案36は、殺人犯、強姦犯、子供に対する性的虐待犯、その他凶悪な犯罪者に刑期の満了を求めています。
- 提案36は、多額の税金を節約します。
- 提案36は、軽犯罪の再犯者に通常の2倍にあたる懲役を科します。

現在、刑務所が社会にとってはリスクがない軽犯罪者で満員状態にあるため、凶悪犯罪者が早期に釈放されています。提案36はこうした凶悪犯罪者の早期釈放を阻止します。小売店から靴下やパン、乳児用のミルクを万引きした軽犯罪者は終身刑には値しません。

提案36は、以下のような法執行機関のリーダーに支持されています。

- Steve Cooley, Los Angeles郡地方検事
- Jeffrey Rosen, Santa Clara郡地方検事

• George Gascon, San Francisco市郡地方検事

• Charlie Beck, Los Angeles警察本部長

彼らは提案36が次を実現することを知っています。

- 刑罰:深刻かつ暴力的な犯罪を犯した危険な犯罪者に終身刑を科す。
- 犯罪に見合った処罰:警察および刑務所の貴重なリソースを非暴力的な犯罪者に無駄に費やさない。
- 毎年1億ドル超の節税。

STEVE COOLEY、地方検事

Los Angeles郡

JEFFREY F. ROSEN、地方検事

Santa Clara郡

CHARLIE BECK

Los Angeles警察本部長